

NHKスペシャル 「兵役拒否 - イスラエル 18歳の決断」をみて、以下の問に答えなさい。

1. 18歳になった青年はなぜ兵役を拒否したのでしょうか。その理由をまとめなさい。
2. 父親は兵役に行くことが当然の義務だと考えています。父親の考え方をまとめなさい。
3. 青年が兵役を拒否したことに對して、周囲はどのような態度をとったのでしょうか。まとめなさい。
4. この青年の決断について、賛成か、反対か、その理由と共に記しなさい。
(※この内容について、とくに特徴的なものは匿名でみんなに配布します)

彼の決断に(賛成・反対・どちらともいえない ※いずれかに○)

理由

ビデオ「兵役拒否 - イスラエル 18歳の決断」をみて

1. 「兵役拒否」という青年の決断についてのみんなの意見を書いてください。

(青年の決断に賛成する意見)

1. 彼がやっているように戦争(テロ)をして平和がくるなんて思わない。人を殺しても憎しみだけがのこる。だから兵役には自分の意志で行く、行かないは決めたらいいと思う。

2. 日本は平和ボケしているので、きっと青年の強さを全部知ることはできないと思う。武力での平和は絶対にあり得ないし、拒否する人たちもいっぱいいると思う。青年たちの行動はきっと何かを変えられると思う。

3. きっと今回の青年の決断によって人々の心が動かされたのは事実だと思う。きっとこの若者たちと同じ意見を持った人たちは今までにもたくさんいたのだと思う。この青年の決断や若者たちの行動を批判する人たちもたくさんいるだろうけど、この若者たちに将来の「希望」を見いだした人たちもたくさんいるのではないだろうかと思う。「間違っている」とだれかが声を上げなければ、まだまだ両国とも血に染まった未来しかないと思う。戦争なんて無意味なものだと思う。

4. 確かに「力に力で対抗する」のは意味がないし、武力に頼らなくても、いろいろ和解する方法はあると思う。しかしもし自分がその立場にいれば、きっと心の中でそんなことを思っても口に出さず、親、世間、国のいうとおりに兵役の義務にしたがっていくと思う。もし否定すれば、その後の自分の人生にもかかわってくることだし、きっと自分にはそんな勇気がないから。

(青年の決断に反対する意見)

5. みんな行ってるんやし、行った方がいいに決まってる。そんなん、兵役に行ってる人たちだって死にたくないに決まってる。それやのに自分たちだけたすかろうなんてセコイ。

6. イスラエル軍の報復、パレスティナ人の自爆テロの流れを変えようというのは勇気があると思うけど、青年の父親の「兵役には参加しても軍の内部からイスラエル軍の考えを変えたら」という意見には賛成できる。青年たちのような人たちがパレスティナにもいたら、この流れも変わると思う。

(どちらともいえないという意見)

7. 勇気があるとは思いますが、自分は絶対しないと思う。日常だってこんな事はある。もちろん戦争ではあり得ないけど、それは小さなルールとか法律でも疑問を感じることもなんかいくらかでもある。それでも守ってきた。そして、そういう人の法が多いだろうし、皆が前を向いているのに、一人だけが後ろを向いているのは不自然だ。

8. 兵役の義務は皆にあるもので、義務とされていれば、しなくてはいけないと思う。国を守るた

めだから。でも、そのような義務があることがおかしいと思う。話し合いがまとまらず、武器によって無理矢理相手の意見をねじ伏せるというやり方も気に入らないし、そんな義務があるから、戦いをし始めたのだと思う。それに（武力によって）たたかおうと思う人（殺そうと思う人）がいることがとても悲しい。そして青年のように間違ってると思うことをはっきりいっているのには賛成できる。

9. 青年が兵役を拒否し、たたかわず平和をめざしていることは正しいことだし、私も武力で解決することはできないと思います。でも今のイスラエルの状況で戦わないということは義務を蜂起することになるし、まわりからも反対されるというのも当然だと思います。青年の父親も、青年が兵役に行かないことで経済的にも不安定になるといっているし、そういう面でも兵役につくことは仕方ないのかも知れないと思いました。

10. 正直言ってよくわからない。このままテロを続けていてもまだまだ終わりそうもないし、兵役を拒否することを続けてもまだまだ時間がかかりそうだから。

II. その他このビデオを見て思ったことを書きなさい。

1. 兵役拒否とかそういう問題の前に、現在している武力による攻撃はすぐにやめるべきだと思う。みんなが兵役を拒否して一方が戦いをやめたとしても、もう一方が必ずやめるという保障はどこにもないからだ。兵役を拒否するだけじゃなくて相手側にも攻撃をやめるように訴えていけばいいのではないかと思う。

2. 武力は平和を生まないし、あとに残るのは後悔とたくさんの死人と、その後何十年、何百年と残る心の傷だけで、得るものはないと思う。話し合いでは相互の意見が食い違うから武力で解決じゃなく、もっともっと互いに納得できる内容を考え出せばよいと思う。青年の考えにもっと耳を傾けていく必要があると思う。

3. もし日本にも兵役があれば私も2年後には必ず兵役に行ってるんだなあと思いました。私も彼らみたいに兵役を拒否したいけど、刑務所にはいらなあかんとおもうと…どうしてるかはわからない。彼らにも早く平和で兵役に行かなくてもいい生活ができるようになるといいなあと思いました。

4. イスラエルで18歳になると兵役につくという義務があることをはじめて知った。青年が戦わずに平和をめざすということに対して、私も賛成だし、そうなることが一番いいと思うけど、まわりや親に反対されながら、そうすることはとても難しいし、まだまだ時間がかかることだと思う。青年の考えや武力に反対する人たちの意見にもっと耳を傾けていく必要があると思う。

5. 勇気のある人たちだと思った。私がかれの立場ならそんな勇気を持てるかすごく不安になる。だけど平和につながるなら何かしなければならぬし、するなら武力よりも刑務所を選ぶと思う。

6. この青年はオレから言わしたら、ただの弱虫。自分だけ逃げるな。みんな我慢していっとんねん。

7. このビデオを見て思ったことは「親子の対立」というものだった。父親の「武力こそが…」という考え方と息子の「武力では…」という考え、この二つが今、両国の代表的な考え方だけど、一番対立している考え方でもあると思う。(後略)

8. 青年と父の間に和解は生まれなかったのか、心の中ではお互いの考え方は理解していると思う。

9. 「自爆テロ」という言葉がよく出てきた。自爆テロというのは私には全然理解できない。なぜ国家のためだと言ってそんなことができるのか、死んでしまったら終わりだと思う。これほどまでに大きくなった戦争で一人や二人テロでなくなったとしても国家がゆるぐことはまずないと思う。私は自爆テロはただの自己満足に過ぎないと思います。その制でまた今以上に自分が守りたいと思ったもの(国家など)が危険にさらされることになるのだそして憎しみと報復の連鎖がつづいていくのだと思っています。(そうすることしかできない今の現状は悲しすぎると思います。)